

2026年 1月 6日

JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 参加報告書

オホーツク地区 鈴木陽和

1, はじめに

この度、鹿児島県で行われた JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会に派遣していただきましたので、報告させていただきます。

2, 研修会概要

参加大会 : JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会

研修日時 : 2025 年 12 月 25 日 (木) ~ 12 月 29 日 (月)

会 場 : 鹿児島ふれあいスポーツランド

鹿児島県立サッカー・ラグビー場

鹿児島県立鴨池補助競技場

白波スタジアム

参 加 者 : 各地域派遣審判員 計 32 名



3, 事前研修会

【全国】2025 年 11 月 12 日 (水) 前回大会の話、グリーンカード、サッカーの 4 局面、大会概要

2025 年 12 月 10 日 (水) グリーンカード、サッカーの 4 局面、ON the pitch と OFF the pitch

【北海道】2025 年 11 月 24 日 (月) 大会概要、競技規則、参加目的、大会準備

2025 年 12 月 15 日 (月) サッカーの 4 局面、大会のシミュレーション

2025 年 12 月 20 日 (土) w-up、8 秒カウント練習、実技練習

4, 担当試合

2025 年 12 月 26 日	FC 琉球 vs ディアブロッサ高田 FC	補助審判
2025 年 12 月 26 日	ニカホウインズ FC vs 清水エスパルス	主 審
2025 年 12 月 26 日	青森 FC vs サガン鳥栖	主 審
2025 年 12 月 27 日	沖洲 FC vs F.C.アンフィニ	主 審
2025 年 12 月 27 日	オオタ FC vs 東京ヴェルディ	補助審判
2025 年 12 月 27 日	ニカホウインズ FC vs ベガルタ仙台	補助審判

5. 担当試合振り返り

① FC琉球 vs ディアブロッサ高田 FC 補助審判担当

INS: 目黒大地氏

特に介入なし

② ニカホウインズ FC vs 清水エスパルス 主審担当

INS: 目黒大地氏

【自己振り返り】

よく走り、自信をもって笛を吹くことを意識して挑んだ。距離感や角度をうまくつかむことができず、邪魔になってしまったことがあった。ボールに当たってしまった後の対応は、焦らずに行うことができた。ファウルをゴール前でとったが、アドバンテージの適用ができる状況だった。笛を吹くかどうか迷ってしまうことが数回あった。

【INS: 目黒大地氏コメント】

・ボールが当たった後のドロップボールの対応

→落ち着いて笛を吹き、対応できていた

・自信をもてていないことが問題

→適切な対応ができているのに、自信がないからどんどん笛が吹けなくなっている

③ 青森FC vs サガン鳥栖 主審担当

INS: 中村悠二氏

【自己振り返り】

試合前にインストラクターの方から助言をいただき、事象ではなく状況を見るために、周りから埋めていくように見る事を意識した。前半はうまく感覚をつかむことができず、無駄走りが増えてしまった印象があった。後半からは周りから埋めていくためのポジショニングを見つけられるようになり、ファウルやタッチジャッチが取りやすくなった。

【INS: 中村悠二氏コメント】

・ポジショニングの意図がわかるからそのまま続ける

→ポジションをとる際に、そのポジションをとることで、どんなデメリットが生じるかも考慮するといい

- ・走り方の改善

→腕が振れていないため、推進力が少ない。スプリントが必要な時など、大きさでも良いので腕を振ることを意識するといい。

- ・声が通るためマネジメントが聞きやすい

④ 沖洲 FC vs F.C.アンフィニ 主審担当

INS：中村悠二氏

【自己振り返り】

前日の試合に引き続き、状況を見るために、周りから埋めていくように見る事を意識した。前半から良い位置にポジションをとることができ、タッチジャッチや接触を見ることができた。その影響で自信を持ち、ジャストで笛を吹けることができた。この試合は、タフなゲーム展開で、手をかけているが影響がないなどの場合が多かったため、基準を高めにしていた。映像を見返した際に、画面上に全然映っていないかったため、縦の距離間の改善をもっとすべきだと感じた。

【中村悠二氏コメント】

- ・コーナーフラッグ付近の深い位置に滞在する事が多い

→オフサイドゴールインは見えやすいが、逆サイドに展開された際に遅れてしまうため、深い位置に入り込みすぎず、ボールの横移動に合わせて、細かいポジションをとるといい

- ・ファウルの基準

→手をかけているのを見えたうえで、影響がなくプレーを続けているから、試合に合わせ基準を調整できているのが良かった

⑤ オオタ FC vs 東京ヴェルディ 補助審判担当

INS：中村悠二氏

【自己振り返り】

後半 10 分あたりで、補助審の位置から見てもオフサイドポジションにいるように見える東京ヴェルディの選手が、オオタ FC のディフレクションに見えるようなボールを受け、シュートを決めた場面。主審はゴールを認めるか判断に迷い、補助審の意見を聞きに来た。その際に、主審がどんなことで迷っているのかを予測し、選手の位置関係の整理やディフレクションの考慮事項など、シンプル簡潔に主審が求める情報を伝えて、主審の判定を援助することができた。

【INS：中村悠二氏】

- ・ベンチへの説明は適切だったか

→ゴールを認めた後の主審のベンチへの説明が、端的になってしまい、競技規則上の言葉ではない説明になってしまった。今回はベンチから異議の声が上がらなかつたが、もっと良い説明方法があるはず。

- ・しっかり話し合って明確に判定したのが良かった

⑥ ニカホウインズ FC vs ベガルタ仙台 補助審判担当

INS：中村悠二氏

特に介入なし

6. 終わりに

この度は、JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会に派遣していただき、ありがとうございました。去年に引き続き全日少への参加をさせていただき、同じ大会ですが、前回とは全く違う景色を見る事ができ、新たな学びも得られる事ができました。前回大会で大きな失敗をしたことや 2 回目の参加ということが自分へのプレッシャーとなり、もっとうまくやらなきゃいけないと気負いしてしまっていた面がありました。ですが、事前研修会や鹿児島に移動してからも、北海道のインストラクターの方々がたくさんアドバイスをしてくださいり、リラックスした状態で試合へと挑むことができました。インストラクターの皆さん、たくさんのサポートをしていただき、ありがとうございました。今大会での学びを生かし、さらに成長できるよう、また 1 からトレーニングに励みたいと思います。

